

The Yokohama Shinkin Bank Semi-Annual Report

《よこしん》半期レポート

令和4年4月1日～令和4年9月30日

このまちの未来をともにつくる



横浜信用金庫

令和 4 年 9 月期の業績について

《よこしん》では、地域社会の持続可能な発展に向けて、さまざまな課題の解決に向けたご支援や社会貢献活動に努めています。

1 預金・貸出金の状況

預金（譲渡性預金を含む）は3月末に比べて648億円、3.2%増加し2兆864億円となりました。

貸出金は3月末に比べて206億円、1.8%増加し1兆1,252億円となりました。

貸出金の業種別残高は下表のとおりです。特定の業種に偏ることなく、さまざまな業種のお客さまにご利用いただいています。

■預金・貸出金の残高			(単位：百万円)	
	令和4年3月末	令和4年9月末		
預金積金	2,021,555	2,082,108		
うち法人預金	546,788	600,711		
うち個人預金	1,464,327	1,467,997		
うち金融機関・公金預金	10,438	13,399		
譲渡性預金	—	4,312		
貸出金	1,104,609	1,125,231		

	令和 4 年 3 月末		令和 4 年 9 月末	
	残高	構成比	残高	構成比
製造業	107,287	9.7	108,207	9.6
農業、林業	1,469	0.1	1,480	0.1
漁業	16	0.0	13	0.0
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—
建設業	182,743	16.5	186,979	16.6
電気・ガス・熱供給・水道業	189	0.0	145	0.0
情報通信業	7,766	0.7	7,873	0.6
運輸業、郵便業	40,395	3.6	41,284	3.6
卸売業	75,716	6.8	78,132	6.9
小売業	39,788	3.6	41,668	3.7
金融業、保険業	7,162	0.6	7,295	0.6
不動産業	266,220	24.1	272,591	24.2
物品賃貸業	8,179	0.7	8,021	0.7
学術研究、専門・技術サービス業	3,598	0.3	3,592	0.3
宿泊業	10,782	0.9	10,662	0.9
飲食業	26,663	2.4	26,403	2.3
生活関連サービス業、娯楽業	13,779	1.2	14,742	1.3
教育、学習支援業	6,162	0.5	6,759	0.6
医療・福祉	25,649	2.3	26,834	2.3
その他のサービス	76,371	6.9	80,444	7.1
小計	899,946	81.4	923,131	82.0
地方公共団体	9,741	0.8	9,060	0.8
個人（住宅・消費・納税資金等）	194,921	17.6	193,039	17.1
合計	1,104,609	100.0	1,125,231	100.0

(注) 不動産業には不動産賃貸業を含みます。

2 不良債権の状況

経営の透明性を高め、その健全性と安全性をご理解いただくため、不良債権の適切な開示に努めています。

不良債権残高は、3月末に比べ76億円、15.8%増加し556億円となりました。不良債権に対する備えは、担保や保証、貸倒引当金により96%が保全されています。

■信用金庫法開示債権（リスク管理債権）および金融再生法開示債権の保全・引当状況						(単位：百万円)	
	債権額 A	保全額 B	優良担保・保証 割手等 C	一般担保 D	貸倒引当金 E	保全率 B / A	引当率 E / (A - C - D)
破産更生債権及び これらに準ずる債権	4,716	4,716	2,880	856	979	100.00%	100.00%
	5,272	5,272	3,658	640	973	100.00%	100.00%
危険債権	40,921	39,644	31,709	6,267	1,667	96.88%	56.64%
	48,348	47,066	37,926	7,489	1,649	97.34%	56.26%
要管理債権	2,402	1,542	—	962	579	64.21%	40.27%
	2,045	1,391	—	828	563	68.06%	46.33%
三月以上延滞債権	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	2,402	1,542	—	962	579	64.21%	40.27%
	2,045	1,391	—	828	563	68.06%	46.33%
不良債権合計 F	48,039	45,903	34,590	8,086	3,226	95.55%	60.16%
	55,666	53,731	41,585	8,958	3,186	96.52%	62.21%
正常債権	1,061,580	不良債権比率 F / G					
	1,074,329						
総合計 G	1,109,620	4.32%					
	1,129,995	4.92%					

(注) 上段は令和 4 年 3 月末、下段は令和 4 年 9 月末の計数です。

3 自己資本比率

自己資本比率は、10.34%と、国内基準（4%）を上回る高い水準を維持しています。

（単位：百万円）

項目	令和4年3月末	令和4年9月末
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	98,020	99,516
うち、出資金及び資本剰余金の額	1,743	1,714
うち、利益剰余金の額	96,325	97,813
うち、外部流出予定額（△）	34	—
うち、上記以外に該当するものの額	△ 14	△ 11
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,494	1,492
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	1,494	1,492
コア資本に係る基礎項目の額（イ）	99,515	101,009
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	628	593
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	628	593
コア資本に係る調整項目の額（ロ）	628	593
自己資本の額（（イ）－（ロ））（ハ）	98,886	100,416
信用リスク・アセットの額の合計額	890,958	927,145
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△ 1,457	△ 1,272
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△ 1,457	△ 1,272
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	43,787	43,787
リスク・アセット等の額の合計額（ニ）	934,745	970,932
自己資本比率（（ハ）／（ニ））	10.57%	10.34%

4 収益の状況

貸出金利息収入の減少により、業務純益は前年比▲2億円、9.5%減少の24億円、コア業務純益は▲1億円、4.1%減少の25億円となりました。

当期純利益は前年比▲2億円、14.5%減少の15億円となっています。

（単位：百万円）

	令和3年9月期	令和4年9月期
業務収益	13,033	12,861
資金運用収益	11,116	11,008
役務取引等収益	1,774	1,736
その他業務収益	142	116
業務費用	10,381	10,460
資金調達費用	208	207
（うち金銭の信託運用見合費用）	(0)	(0)
役務取引等費用	805	719
その他業務費用	4	238
一般貸倒引当金繰入額	72	—
経費	9,290	9,295
業務純益	2,653	2,400
（コア業務純益）	2,652	2,541
経常利益	2,435	2,159
当期純利益	1,782	1,522

（注）

業 務 純 益＝業務収益－（業務費用－金銭の信託運用見合費用）

コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券5勘定戻

5 有価証券の時価情報

債券を中心に安全性を重視した有価証券運用を行っています。しかしながら、世界的なインフレ懸念の高まりを受けて、国内外の市場金利が上昇したことなどから、保有有価証券全体での評価損は34億円となっています。

■満期保有目的の債券の時価のあるもの

（単位：百万円）

	令和4年3月末					令和4年9月末				
	貸借対照表計上額	時 価	差 額	うち益	うち損	貸借対照表計上額	時 価	差 額	うち益	うち損
満期保有目的の債券	25,273	25,795	522	536	14	25,453	25,788	335	389	54

（注）時価は期末日における市場価格等に基づいています。

■その他有価証券の時価のあるもの

（単位：百万円）

	令和4年3月末					令和4年9月末				
	貸借対照表計上額	取得原価	差 額	うち益	うち損	貸借対照表計上額	取得原価	差 額	うち益	うち損
株 式	11,824	7,347	4,476	4,552	76	11,437	7,590	3,847	3,922	75
債 券	364,219	364,301	△ 82	2,138	2,221	357,439	362,958	△ 5,518	896	6,415
その他	87,672	84,866	2,805	3,638	832	89,176	91,268	△ 2,092	2,625	4,718
合 計	463,715	456,516	7,199	10,329	3,130	458,053	461,818	△ 3,764	7,445	11,209

（注）貸借対照表計上額は期末日における市場価格等に基づいています。但し、上場株式、上場投資信託及び上場優先出資証券については期末日前1ヵ月の市場価格の平均に基づいています

※計数は、単位未満を切り捨てて表示しています。

※令和4年9月末の計数は、会計監査人の監査を受けていません。

《よこしん》オンラインサービス休止のお知らせ

当金庫では、システム更改に伴い、以下のスケジュールで全てのオンラインサービスを休止いたします。オンラインサービスの休止中は当金庫および提携金融機関・コンビニエンスストアなど、全てのATMにおいて当金庫キャッシュカード・通帳がご利用いただけません。お客さまには大変ご不便をおかけし誠に申し訳ございませんが、現金のお預入れ・お引出し、お振込み、通帳のご記帳などお早めにご準備いただきますようお願いいたします。

ATM 休止予定スケジュール

令和 4 年 12 月		令和 5 年 1 月			
30 日 (金)	31 日 (土)	1 日 (日)	2 日 (月)	3 日 (火)	4 日 (水)
△	×	×	×	×	△
当金庫 ATM は平日稼働*		終日ご利用いただけません			
		当金庫 ATM は平日稼働*			

※提携金融機関やコンビニ ATM、インターネットバンキング等でご利用時間を制限させていただく取引がございます。詳しい内容は、店頭でお配りしている「システム更改のご案内」またはホームページでご確認ください。
<https://www.yokoshin.co.jp>

休止する主なサービス

- ①当金庫の ATM を利用する全てのサービス
- ②提携する金融機関やコンビニエンスストアの ATM、駅(JR)の ATM(ビューアルッテ)による当金庫カードのご利用
- ③デビットカードサービスのご利用
- ④インターネットバンキング・投信インターネットサービス・FB・HB のご利用
- ⑤ネット口座振替・Pay-easy(ペイジー) 口座振替受付サービスのご利用



SDGs(持続可能な開発目標)への取組みについて

●ブックオフコーポレーションおよび横浜市社会福祉協議会と連携協定を締結

4 月 15 日にブックオフコーポレーション株式会社および社会福祉法人横浜市社会福祉協議会と、地域における「SDGs の普及促進」と「福祉の推進」に関する連携協定を締結しました。地域のお客さまから不要になった本・CD・DVD などを営業店で回収し、ブックオフコーポレーションに買取依頼して、その資金を横浜市社会福祉協議会に寄付しています。



営業店トピックス

《よこしん》では、地域イベントへの参加やロビー展の開催など、地域とのコミュニケーションを大切にしています。ホームページでは、各営業店の取組みを紹介しています。

●馬場支店

7 月 18 日に馬場町南部自治会主催の「ふれあい盆踊り大会」に参加しました。



横浜信用金庫は令和 5 年 7 月 19 日に創立 100 周年を迎えます

おかげさまで、当金庫は令和 5 年 7 月に創立 100 周年を迎えます。100 周年に向けて職員から募集した記念ロゴは、これまで当金庫の成長を支えていただいた“このまち”への感謝と、これからも笑顔あふれる“まちづくり”に貢献していく決意を込めたシンボルマーク・スローガンです。

《当金庫ホームページに 100 周年特設サイトを開設しました》

ともに歩む、これまでもこれからも



令和 4 年 11 月制作

横浜信用金庫

〒231-8466 横浜市中区尾上町 2 丁目 16 番地 1

TEL. 045-651-1451 (代表)

《よこしん》ホームページ <https://www.yokoshin.co.jp>